

会議録

資料 1

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成30年度第5回定例会
開催日時	平成30年8月22日(水) 14時30分から17時00分まで
開催場所	柳沢公民館 第2会議室
出席者	委員：石田裕子、武司一郎、廣田幸雄、伊尻由起、小安のぞみ、松嶋真、吉野みさわ、伊藤邦子、倉持伸江、呉世蓮、山本一幸、手塚成隆 職員：大橋館長、山本事業係長、長谷部分館長、三城分館長、水野分館長、鴨志田分館長、小笠原主任
欠席者	委員： 真鍋五十鈴、小野修平 職員： なし
議題	(1) 第4回定例会の会議録について(資料1) (2) 報告事項 ①行政報告 ②公民館だより編集室報告 ③都公連関係報告(委員部会関係報告ほか) ④教育計画策定委員会報告 ⑤図書館計画策定懇談会報告 (3) 審議事項 ①事業計画書・事業報告書について(資料2、資料3、資料4) (4) 協議・確認事項 ①小・中学校と公民館との今後の展望について ②諮問について ③平成29年度事業評価の二次評価について ④その他 (5) 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	平成30年度第5回定例会次第及び通知 資料1 平成30年度第4回 定例会会議録(要旨)(案) 資料2 平成30年度 第5回公民館主催事業計画書(案) (12件) 資料3 平成30年度 第5回公民館主催事業報告書(案)(平成30年度分)(5件) 資料4 平成30年度 第5回公民館主催事業報告書(案)(平成29年度分)(1件) 平成29年度西東京市公民館事業評価表(案) 平成30年度第5回公民館だより編集室会議記録 平成29年度、30年度の各公民館の事業計画書及び報告書の抜粋(子ども、小中学校対象の事業に関して) 「西東京市公民館事業評価の位置付けと事業計画との関係について(諮問)」の答申にむけた意見交換メモ 芝久保公民館卓球台設置利用試行に関する要望書 東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会のお知らせチラシ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(2人) <input type="checkbox"/> 無し
会議内容	
議題(1) 第4回定例会の会議録	6ヶ所の訂正あり 「P1(誤)ハンデイ→(正)ハンディ」、「P2(誤)コンペテイション→(正)コンペテイション、(誤)トレンデイ→(正)トレンディ、(誤)デイズニー→(正)ディズニー、(誤)モーツアルト→(正)モーツァルト」

P2の(4)協議・確認事項で、(誤)助言の元検討を始める→(正)助言のもと検討を始める

(2) 報告事項

① 行政報告

○平成30年第3回市議会議事日程報告

○教育委員会報告・・・

・学校ブロック塀の緊急補修修繕について

・通学路の危険箇所(学校施設外)について

○田無小学校校庭の銃砲刀掘削作業終了について

○田無公民館耐震改修の説明会、懇談会について

(説明会での市民意見から・・・工期を短くしてほしい、代替施設の用意)

・耐震改修とあわせて、バリアフリー化、エレベーター、空調機器、トイレ等の改修も要望。

委員：現在2階の部屋で楽器等の音出しを禁止している部分があるが、今後の部屋の防音対策はどのように考えるか

事務局：専門家に相談の上、防音カーテンの備品購入などで検討。

委員：工事中の代替施設については、どう考えているのか。

事務局：まずは、空きの多い他の公民館をご利用いただきたい。田無地区の地区会館の利用も関係部署と調整の上検討していきたい。

委員：耐震改修で、公民館部分が減らされることがあるのか。

事務局：ないと思う。

② 公民館だより編集室報告

委員：会議録に沿って要旨を報告。

③ 都公連関係報告(委員部会報告)

委員：9月1日に開催される委員部会第1回研修会についてチラシにそって案内。

参加者の最終確認。6人参加希望。

事務局：前回、第40回全国公民館研究集会東京大会を案内したが、本日はそちらの参加希望者も確認したい。11月1日に委員3人参加希望。8月末日まで連絡あれば受付。

④ 教育計画策定委員会報告

委員：次期西東京市教育計画の体系(案)の第3章第4章について意見交換が行われた。

⑤ 図書館計画策定懇談会報告

委員：8月21日、中央図書館で15時から会議開催。基本方針を中心に長期的視野も踏まえ審議した。

(3) 審議事項

① 事業計画書・事業報告書について

平成30年度公民館主催事業計画書 (12件)

【柳沢公民館】

・地域づくり未来大学

～学びで地域を豊かにするための第一歩～

委員：重みのある講座の印象を受けた。どのような内容か、考え方、方針を教えてください。

事務局：中央館である柳沢公民館として、さらには西東京市の公民館として、学びを通じた地域づくり講座として、どっしりと構え、長期的展望で教育機関の代表である公民館として新たな挑戦をしていきたいと思っている。実践と学びを組み合わせ、循環型の事業スタイルと

している。

【田無公民館】

- ・ k o - m i n k a n 講座

ヒトとつながるマチ暮らしのヒント ～人生もマチもちよっぴり変えてみませんか～

委員：k o - m i n k a n 講座の c o でなく k o は、何か理由があるのか。

事務局：講師の助言で、このネーミングにした。

委員：了解した。今後のサークル化を期待している。

- ・ 料理講座 発酵食パワーを日常に活かそう！

【芝久保公民館】

- ・ 健康講座

笑顔で元気になろう！ ～体操・脳トレ・リトミック～

- ・ 第36回 芝久保公民館まつり

【谷戸公民館】

なし

【ひばりが丘公民館】

- ・ 映画上映会

長編ドキュメンタリー映画 子どもは風をえがく

- ・ 教養講座

親子でベビーダンス

- ・ 高齢者の課題を考える講座

いきいきナイス長寿に必要なこと

【保谷駅前公民館】

- ・ 韓国の平成教育からとらえた多文化共生

委員：計画書の一部訂正あり。講師の呉世蓮の紹介部分、2044年来日は、2004年来日の間違いである。

- ・ 女性の生き方、働き方を考える講座

Ladies Café～女性の生き方、働き方を考えよう～

委員：この講座名をつけた理由は、また、対象の年齢の範囲を教えてください。

また、講師のそれぞれの役割は。

事務局：気軽に参加してほしいのでこのネーミングを考案した。対象年齢は、幅広くと考えている。講師は女性であり、当事者目線での講演、指導を期待している。

- ・ メンズクッキングいろは（基礎編）

- ・ 環境講座

地元の環境保護と、ものづくりの楽しみ

平成30年度公民館主催事業報告書（平成30年度分）（5件）

【柳沢公民館】

- ・ 第13回人形劇フェスタ in 西東京

【田無公民館】

- ・ 第12回田無公民館まつり

【谷戸公民館】

- ・ 自分らしく生きる ～性の多様性から考える～

委員：歌謡曲をツールに参加しやすい工夫がされていて、大変素晴らしい講座だと思う。

委員：参加者の世代は。

事務局：50歳代が中心であったようだ。

委員：どのような歌謡曲を使用したのか。

事務局：60～80年代のポップスから演歌まで。

- ・親子で自然を学ぶ「谷戸セミナー」
“セミの羽化観察会・Ⅱ”

委員：講座そのものは、大変評価できる講座だと思う。しかしながら、目標の達成度の文章が前年度のものと同様であり情緒的で公文書としての報告書には不適切であると思う。差し替えをしてほしい。

事務局：今後気をつけたい。

- ・子ども体験講座 宇宙を知ろう！子ども天文学講座

平成30年度公民館主催事業報告書（平成29年度分）（1件）

【柳沢公民館】

- ・柳沢公民館開館30周年記念事業

「ふれあう仲間 ゆたかな未来 -ありがとう！ 柳沢公民館開館30周年-」
記念イベント

（4）協議・確認事項

①小・中学校と公民館との今後の展望について

平成29年度、30年度の各公民館の事業計画書及び報告書の抜粋

（小学校や中学校を会場にした事業や、小学生や中学生を対象にした事業）

- ・「保谷駅前公民館」平成30年度事業計画から

～開館10周年記念 地域出前講演会 笑顔と感謝と行動力で、「夢」をかなえる～

事務局：計画書に沿って説明。

委員：副次的効果にある内容を、むしろ達成目標の一つにそえてもよいのでは。

事務局：現在、図書館の学習室、公民館ロビーで子どもたちが学習している。青嵐中学校と明保中学校で開催される講演会会場でも、駅前フェスタの事業チラシの配布などを通じて、公民館をPRしていきたい。

委員：中学校側としては、これからの公民館と中学校との関係性構築の上から、従来以上に職場体験の受入れの機会や人数をもっと増やしていただけたらと思う。

- ・「保谷駅前公民館」平成29年度事業計画、報告書から

～小・中学生の書き初め講座～

委員：どの小中学校でも冬休みの宿題として出される書初めについては、書初めの大きな半紙を広げるスペースを確保できない家庭も多く、このような企画を公民館で行っていることは有難い。ただ、公民館の講座には定員があり、希望者が漏れる場合がある。

事務局：小・中学生の書初め講座は、保谷駅前公民館だけでなく公民館全6館で行ってほしいとの学校側の意見も承知している。

委員：書道の市民サークルの協力を得て書初めができる機会をつくることも考えられるのではないかな。

委員：今後、夏休みの部活も行わない閉校日を実施することになると思う。その期間に中学生を対象とした事業を実施すると、中学生がこれまでより参加するのではないかな。チラシ配布などは積極的に協力していきたい。

委員：小学生は公民館がどのようなところがわからないと思う。小学生を対象にした事業を公民館でぜひ継続して行ってほしい。その後の彼らの成長の中で公民館と繋がっていくと思う。また、教職員対象に公民館について研修の機会があればと思う。

②諮問について

事務局：答申骨子策定委員メンバー等が、8月9日に東京学芸大学の倉持先生を訪ね、これまでの事業評価の取り組みについて意見交換を行った。

委員：意見交換の内容を論点整理したものを説明。評価のできあがるタイミングから、翌年度

の事業計画に反映させることができずにいることが大きな課題である。

③平成29年度事業評価の二次評価について

委員：本日、13時30分から二次評価案をまとめた。ここで、A B C Dの評価案をお伝えしたい。

委員：二次評価の文言整理は、会長に一任してよいか。

委員：まだ意見を提出していない委員の方は、公民館の事務局を通じて会長まで。

委員：1週間以内で事務局がとりまとめ、会長が文言を整理することにした。

委員：次回の答申骨子策定メンバーによる会議は、9月12日水曜日の午後6時30分から、柳沢公民館で開催予定としたい。

④その他

芝久保公民館の卓球台、印刷機の件について

事務局：平成30年8月20日付で、芝久保公民館利用者連絡会から、芝久保公民館卓球台設置利用試行に関する要望書が西東京市公民館運営審議会会長宛てに提出された。

委員：館長、芝久保公民館分館長の意見を聞かせてほしい。

館長：西東京市公民館として、考え方・方向性を出していきたいと思う。公民館はスポーツ専用施設ではなく、なにより安全性の確保が必要である。

公民館ロビーの個人利用は可能であるが、各部屋については、登録団体の予約利用が原則である。これらを考慮しながら、9月の利用者懇談会で芝久保公民館の職員と利用者とともに考えていきたい。

芝久保分館長：利用率が他館に比べてかなり低い芝久保公民館を少しでも多くの市民に知ってもらい利用してもらえるように考えてきた。公民館での卓球は、スポーツとしてではなく、レクリエーションとしてのピンポンと考えている。芝久保公民館は、近くの西原児童館が数年前になくなってしまったため、青少年の居場所づくりに重点的に取り組んでいる。子どもたちの気持ちを受け止めて、世代間交流や子どもの居場所づくりや空き室の有効活用にもつながるレクリエーションの卓球を続けたいと思う。

印刷機はロビー設置でもよいと思うサークルもあることから両意見を受けながら、また様々な市民・サークルの多くの人達の意見を聞いて、9月29日の利用者懇談会までに考えていきたい。

館長：公民館全体の運営に関することなので、今後は分館長会議等を通じて、あらためて西東京市の公民館として考えていきたい。

委員：当審議会は当件の決定機関ではないが、要望書には当審議会も一緒に考えてほしいとの内容であった。芝久保公民館分館長については、9月の利用者懇談会までに多くの市民・サークルの意見聴取と丁寧な対応を期待したい。組織上、最終的には館長の決定で結論がでると思うが、その経過を見守りたい。

(5) 事務連絡及び情報交換

事務局：なかの生涯学習サポーターの会主催・生涯学習サポーター養成講座の開催について。9月7日から、なかのZEROにて、西東京市公民館運営審議会委員の倉持伸江先生が講師の講座(全6回)が実施される。情報提供まで。

次回の日程について

平成30年度第6回定例会

9月26日(水)18時30分～

於:柳沢公民館 第1会議室